

しゃかいふくしほうじんこほくかい 社会福祉法人湖北会

わーくす ワークスさかた

ワークスさかた



もぐさ①



シートベルト部品の組み立て



バリ取り



もぐさ②



テーブ巻き



はずみ菓子

ワークスさかたは主に3つの事業を展開されています。一般企業に搬入出する下請事業、企業や官公庁などの現場に行き仕事をする委託事業、事業所独自の店舗などを経営する自主事業。今回は、ワークスさかた内で作業されておられた下請事業を中心に取材させていただきました。一番驚いたことは施設の広さと作業種類の多さです。たくさん作業内容を覚えておられる職員さんにも驚きました。



施設長 嶋崎雅之

ゆめ そだ ば 夢を育てる場

「ワークスさかたは、皆さんの働きたいを応援する場（障害者総合支援法における障害者就労継続支援B型事業所）です。

生産活動や就労の機会を提供を通して、知識やスキルの習得・向上を目指します。

まず、休まず通う力を付けてもらうためには、ワークスさかたを好きになってもらうことが大切と考えます。そのためには、過ぎしやすい環境や、出来ること・出来たことが認められ、ご自身に自信を持ってもらうことが必要と思います。」

今回、施設長の嶋崎さんへのインタビューで働く力をつけながら「夢を育てる場」になるよう尽力されていることを聞くことができました。

具体的には、はたらき・くらし応援センターこほくと連携して就業体験を経て就職につながるサポートや、社会経験を蓄えて再スタートする支援をされています。

最後にお知らせです。自主事業で製造されている製品は湖北の道の駅（近江母の郷・伊吹の里 旬彩の森・湖北みずどりステーション）と米原市役所本庁舎三階のオープンスペース「TETTE MAIBARA」（毎月第1火曜日）にて販売中です。ぜひ、一度ご賞味ください。

ワークスさかたは、米原町社会福祉協議会様が設置運営されていた「まいはら共同作業所」（平成三年開所）を湖北会が、授産施設「さかた作業所」（定員20名）として平成七年四月に開所したのが始まりです。

平成二十年に就労継続支援B型の新体系に移行し「ワークスさかた」と名称変更しています。

平成二十五年に現在の場所に移転（定員40名）しました。



今回の取材にはPTAの進路部員さんにも同行していただく予定でしたが、諸事情により見送らせていただきました。

その旨を施設長にお伝えすると大変残念がっておられました。個別で見学にも対応していただけますので、まずは学校へ連絡してください。

【施設情報】

〒521-0003 滋賀県米原市入江638-3

TEL: 0749-53-3100

FAX: 0749-53-3200

E-mail: sakata@kohokukai.or.jp

<http://www.kohokukai.or.jp/index.htm>